

大空衛

第82号
(新春号)



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 会長 古新 亮英…… 1	官公庁との懇談会……………19
新年のご挨拶	平成29年度 安全パトロール実施 ……20
大阪府知事 松井 一郎 …… 2	新技術・新商品説明会・懇親会を開催……24
国土交通省 近畿地方整備局	4団体協議会を開催……………26
営繕部長 白川 和司…… 3	第44回野球大会を開催……………27
新年交礼会を開催…………… 4	大空会ゴルフ大会を開催……………31
日空衛 第24回全国会議開催 …… 6	ボウリング大会を開催……………32
平成29年度 安全衛生大会開催 …… 8	告知板（賛助会員募集） ……33
第9回配管技能コンテスト開催……………11	青年部会活動……………34
配管技能コンテスト 審査講評 ……13	基礎知識研修会受講ガイド……………36
配管技能コンテストに参加して	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同)……………38
(高校生5人) ……14	編集後記……………40
第55回技能五輪全国大会報告……………18	

(表紙写真)

大阪府立国際会議場（中之島5丁目）

愛称「グランキューブ大阪」で知られる。大阪の都心・中之島に立地し、各種会議や展示会など多目的に使用できる施設として年間を通じて様々な催しが行われている。大阪府と大阪の経済界が共同出資して設立された株大阪国際会議場が管理運営にあっている。

地上13階、地下3階の鉄骨造りで高さ約104m。設計は著名建築家の黒川紀章氏で、折り紙や松葉などの日本の美を取り入れたデザインと、「スーパードミノ」「メタボリズム建築」の融合作品などと評価されている。メインホールは最大約2750名が収容でき、隣のリーガロイヤルホテル大阪とは1階の連絡通路で繋がり、VIPなどが出席する会議で警護の面でも優れている。世界観光機関（WTO）総会、世界水フォーラム、国際ロータリー大会、2008サミット財務相会議など大きな国際会議が開かれてきた。商都・大阪が誇る国際的な近代施設である。



新年のご挨拶

会長 古新亮英

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたこと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、九州北部豪雨や大型台風による記録的な自然災害、北朝鮮による度重なるミサイルの発射など、不安定な情勢が続いたものの、経済面では良好な企業業績を背景に、日経平均株価の上昇など順調に推移しました。このように緩やかな回復基調が持続する中で、関西の空調設備業におきましては、民間需要に支えられ、堅調な状況が推移しているといえます。

そうした中、建設業界は、今後も時代とともに変化する社会のニーズや活動の広がりに対応すべく、進化していくことが求められております。こうした使命を果たしていくうえでの最大の課題は、若年労働者の減少、技能者の高齢化といった生産年齢人口の減少が進む中での担い手の確保です。

このためには、若年層や女性の入職を促進し、かつ高齢層が働きやすい環境を整備していく観点から、賃金水準の向上や長時間労働の是正、週休2日の確保など「働き方改革」を強力に推進していく必要があります。併せて、ICTなどの一層の活用はもちろん、技能労働者の技能向上や資機材の効率的な活用など生産システムから個々の企業の取組に至るまで、あらゆるフェーズにおける「生産性向上」にむけ、果敢に取り組むことが重要であります。

昨年3月、政府において策定された「働き方改革実行計画」を踏まえ、日本空調衛生工事業協会におきましては、「働き方改革」の実現に向けた行動計画を策定することとなっております。当協会といたしましても、実効性のある行動計画が策定されるよう働きかけていくとともに、各会員企業における労働環境の推進や生産性の向上に資するよう、本行動計画を周知してまいります。

また、技能労働者の能力評価基準の策定と、技能と経験に応じた処遇の実現が可能となる「建設キャリアアップシステム」につきましても、国土交通省の主導により、建設業振興基金が運営主体となり、関係団体の参画で、鋭意、開発が進められております。本システムの運用により、個々の技能者を取り巻く環境が大いに改善し、更なる「現場力」の向上につながることを期待しております。

一方、当協会は、設備工事業を担う人材育成の一環として現役の配管工と高校生などが腕を競う『配管技能コンテスト』を開催しており、今年で10回目の節目を迎えます。将来の技能工育成による人材確保が図られるよう、関係団体や学校との連携を更に充実させてまいります。また、会員・賛助会員の皆様との交流会を継続的に実施することにより、双方向のコミュニケーションを深め、協会活動の一層の活性化を図ってまいります。

われわれ空調衛生工事業従事者は、長年培ってきた設備技術の経験とノウハウを活用し、更なる技術の開発・革新に努め、再生エネルギーの導入と省エネルギーの推進により、『低炭素社会づくり』を先導する役割を担っております。そのためにも、当協会は、空調衛生工事業がやりがいのある産業であり、働く人を大事にする魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、協会活動の活性化と業界の更なる発展のために、会員・賛助会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄と皆様にとって素晴らしい一年になることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪府知事

松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、住みよ
い大阪のまちづくりにご貢献をいただきますとと
もに、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力を
賜り、厚くお礼申し上げます。

府政においては、これまで積み上げてきた成果
を土台に、府民の皆様や市町村、経済界とともに、
さらなる成長の芽を大きく育てていく一年としたい
と考えています。

現在、大阪府では2025国際博覧会の大阪・関
西への誘致に向け、国・大阪府・大阪市・経済界
など、オールジャパンの体制で取組みを進めて
おります。この国際博覧会のテーマは「いのち輝
く未来社会のデザイン」です。子どもからお年寄
りまで、だれもが生き生きと暮らせる健康で豊か
な社会を大阪・関西から実現し、世界に広めてい
く。それが、私たちがめざす2025年の万博の姿
です。

今年秋には、いよいよ開催地が決定されます。
皆様と心をつなぐ、オールジャパンで誘致を勝ち
取りたいと思いますので、応援よろしくお願いま
す。

成長の基盤となる都市インフラの充実にも力を
注ぎます。魅力あふれる都市空間の創造に向け、
大阪の顔となる「うめきた2期」の整備を進めます。

また、自然災害から府民の皆様の暮らしを守る
ため、南海トラフ巨大地震などの大規模地震に備
え、住宅・建築物の耐震化や密集市街地対策など、
様々な危機事象に确实・迅速に対応できるよう、
着実に対策を進めます。

建設業においては、現場の就労者の高齢化や若
年入職者の減少といった問題が生じており、建設
業を支える人材の確保が課題となっております。
このような状況のもと、貴協会におかれましては、
配管技能コンテストの実施による、熟練技能工の
育成など、優れた技能労働者の確保と社会的地位
の向上のために、たゆまぬご努力を重ねておられ
ます。大阪府においても、引き続き、貴協会をは
じめとした建設事業者の団体と連携し、社会保険
未加入業者の排除などの技能労働者の処遇向上を
図り、建設業界の健全化に向けた取組みを推進し
てまいります。

今後とも、これらの取組みの推進並びに大阪の
建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍
いただきますとともに、大阪府政の推進に、なお
一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協
会の今後ますますのご発展と、本年が皆様にとっ
て実り多いすばらしい年となりますよう心からお
祈りします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 白川 和司

明けましておめでとうございます。
一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員
のみなさま方には、清々しく新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

また、日頃より、国土交通行政の推進及び官庁営
繕事業の執行にあたり、深いご理解とご協力を頂き、
厚く御礼申し上げます。

昨年1月20日に、「官公庁施設整備における発注者
の在り方について（公共建築工事の発注者の役割）」
について、社会資本整備審議会から答申をいただき
ました。公共土木工事との対比の下に、公共建築工
事の特徴と発注者に求められることを明らかにし、発
注者の役割が整理されたところです。

これらの議論を踏まえ、近畿地方整備局では、発
注者としての役割を的確に果たせるよう努めて参りま
す。具体的には、業務や工事の内容に応じた適切な
予定価格の設定、適切な工期の確保、とりわけ設備
の試運転調整を行えるようにするための概成工期の
設定、そして、工事現場における週休2日の定着を
図る試みを行って参ります。

さらに、地方公共団体などの発注者に対してもこれ
らの取り組みを支援し、建築設備に携わるみなさま
が、希望をもって働けるような環境を整備することに、
引き続き取り組んで参りたいと考えております。

また、働き方改革への取り組みの一つとして、建
築関係工事における i-Construction にも取り組んで
いく所存です。設備関係工事においても、設備関係

諸室の施工前には、配管類の緩衝チェックのため、B
IMを活用するのが当たり前になっている、というこ
とを聞いたことがあります。着実に、ICTの技術が
入り込んでいる中で、さらに、水平展開、垂直展開
のための支援が行えたら、と考えているところです。

これらの取り組みは、関係業界のみなさまのお力
添えがあって、初めてその最大の成果を上げるもので
す。みなさまのご理解・ご協力をお願いしたいと思
います。

また、近畿地方整備局営繕部としましては、今年
も引き続き「防災・減災」、「長寿命化」を主たる柱
として取り組んで参ります。

「防災・減災」については、南海トラフ巨大地震な
どに備え、防災拠点となる大阪第6地方合同庁舎等
の整備を進めるほか、既存官庁施設の耐震性や電力・
通信・給排水の機能確保など防災機能の強化を図っ
て参ります。「長寿命化」は、既存官庁施設をより
長く安全に利用しトータルコストの縮減などを図るも
ので、老朽化の進行を防ぐ長寿命化改修や、効率的
に機能維持するための保全指導の実施を行って参り
ます。

最後になりますが、建築設備の担い手であるみな
さま方のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しま
すとともに、今後とも業界がより一層発展されることを
期待し、また、貴協会並びに会員のみなさまにとっ
て本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまし
て、新年の挨拶とさせていただきます。

平成30年新年交礼会

来賓を交え360名参集 賑やかに「戌年」スタート



年頭の挨拶を述べる古新会長



来賓挨拶を述べる白川様(左)と岸本様(右)

平成30年新年交礼会は、1月9日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からの多くのご来賓をお迎えし、総勢約360名が参集して開催しました。

古新亮英会長は年頭挨拶で、「緩やかな回復基調が持続する中で関西の空調設備業でも民間需要に支えられ、堅調な状況で推移しているといえる」としたうえで、「最大の課題は若年労働者の減少、技能者の高齢化といった生産年齢人口の減少が進む中での担い手の確保である。このためには、若年層や女性の入職を促進し、かつ高齢層が働きやすい環境を整備していく観点から、賃金水準の向上や長時間労働の是正、週休2日の確保など、『働

き方改革』を強力に推進していく必要がある。当協会としては実効性のある行動計画が策定されるよう働きかけていくとともに、各会員企業における労働環境の推進や生産性の向上に資するよう、本行動計画を周知していく」と述べるとともに、設備工事業を担う人材育成の一環として実施している配管技能コンテストについて「将来の技能工育成による人材確保が図られるよう関係団体や学校との連携でコンテストを更に充実させる」と決意を示しました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・白川和司様は祝辞の中で、「近畿地方整備局では発注者としての役割を的確に果たせるように、業



「戌年」の門出を祝って乾杯



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓

務や工事の内容に応じた適切な予定価格の設定、適切な工期の確保、とりわけ設備の試運転調整を行えるようにするための概成工期の設定、工事現場における週休2日の定着を図る試みを行っていききたい。建築設備に携わる方々が希望をもって働けるような環境を整備することに引き続き取り組んでいく」と挨拶しました。

また、ご来賓の大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課長・岸本博の様は「大阪府では『命輝く未来社会のデザイン』をテーマに2025年の国際博覧会の開催地に立候補しており、オールジャパンで誘致を勝ち取りたいと思っている。また、東西二極の一極として日本の成長を牽引し、誰も

が安全・安心に暮らせる街にするために一丸となって府民の皆様のための施策を力強く推進していく。さらに、建築物省エネ法に基づく省エネ対策の必要性が益々高まるなか、府では国の掲げる目標に取り組むために新・大阪府ESCOアクションプランに基づき建築物の省エネルギー化、二酸化炭素排出削減、光熱費削減を効果的に進めることができるエスコ事業を積極的に導入していきたい」と挨拶しました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、賑やかに交歓しながら新年の挨拶を交わしました。最後に近藤徹副会長の音頭で一本締めを行い、交礼会を終えました。



近藤副会長の音頭で一本締め

日空衛 第24回全国会議

島根県松江市に全国から約300名参集



円内は挨拶する長谷川会長

日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長長谷川勉氏）の第24回全国会議が平成29年10月12日に島根県松江市で開催され、「設備工事におけるヒューマンエラー」や「担い手確保と新たな人材育成」などを模索するとともに、業界の積年の課題である「空調衛生工事業の独自性の確立」へ向け力を結集していくことを再確認した。

会議には全国都道府県の空調衛生工事業団体から役員を中心に約300名が松江市の「ホテル一畑」に参集。長谷川会長は冒頭挨拶で、働き方改革について、協会の経営活性化委員会で2017年度中に〈日空衛・行動計画〉を策定すると述べるとともに、業界がめざしている〈週休2日導入〉については「一日も早い実現と定着を図りたい」と意欲を示した。さらに、工期問題については「このほど策定した適正な工期のガイドラインに基づき、適正な工期設定と適正受注額の確保に取り組む」と述べ、最後に「省エネ・低炭素社会の

実現へ向け業界の力を結集していきたい」と、協力を呼びかけた。

来賓からは国土交通省中国地方整備局の河野俊郎副局長が挨拶に立ち、「建設業の担い手確保と生産性向上に取り組んでほしい」と期待を込めて



来賓挨拶する河野様

祝辞を述べた。次いで、労働安全衛生総合研究所リスク管理研究センターの高木元也センター長が「設備工事におけるヒューマンエラーについて」と題して基調講演を行った。高木氏はこの中で



高木様による基調講演



「災害は前に戻すことができないもの。人はエラーをするものとの前提として安全対策を講じなければならない。基本ルール・鉄則を徹底して守ってほしい」と要請した。また、「建設現場は工場より安全対策が難しい」と述べ、その特殊性として①作業内容が日々変化②単品受注生産③多業種の専門工事業者が入場（元下重層構造）④雇用期間が短い——などをあげた。漏水トラブル防止とヒューマンエラー対策については、「ヒューマンエラーがあっても事故が起きないようにする対策が欠かせない」と述べ、ヒューマンエラーの様々な態様をあげて注意を喚起した。

続いて、松江工業高等専門学校・環境・建設工学科の大屋誠教授が「魅力的な建設産業に向けて～担い手確保と新たな人材育成」をテーマに講演した。大屋教授は、同校の実例を出して人材育成への道筋を示した。最後に「担い手確保は向こう3年間で勝負で、もう待ったなしの状況だ。教育が変わらないと人材確保はできない」と述べ、教育の重要性を訴えた。

このあと、協会が作成した技能者入職促進PRビデオの上映が行われた。

会議のあと小憩し、盛大に懇親会が開かれ、情報交換・意見交換が繰り広げられた。



大屋様による講演



平成29年度

安全衛生大会を開催



挨拶する古新会長

平成29年度安全衛生大会を昨年10月4日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約210名が出席。最初に、業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげてご冥福をお祈りしました。

大会で冒頭挨拶に立った古新亮英会長は「昨年の建設業における労働災害の発生状況をみると、全国での死傷者は前年度比3.4%減少したが、いぜんとして約1万5000人という高い数字である。この中で建設業の死亡者については、全国で初めて300人を下回ったものの、2017年1月から7月までの死亡者数は前年同期と比べて約10%増の150人と大幅に増えている」としたうえで、「その主な原因の一つである墜落・転落災害に対



「安全への取り組み」を呼びかける長谷川様

しては作業における安全性の検討は当然であるが、墜落時の衝撃を緩和するハーネス型安全帯の使用の徹底といった防止策を強力に推進することが求められている」と述べました。

さらに、「働き方改革を推進し、労働災害を防止するためには、一過性の指導に終わらず、安全



安全衛生優良事業所として30社を表彰

管理や労働衛生教育を粘り強く繰り返し推進することにより、労働者の安全確保や、職場環境の改善を図り、労働災害ゼロを目指していく必要がある」と訴えました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・長谷川雅一様から来賓挨拶をいただきました。長谷川様は、元請・下請約1000社からアンケート調査を実施した結果、元請として安全面で困ったことの1つに「安全書類の杜撰さ」があるとし、安全書類の重要性を強調されました。ま

た、下請から元請への要望としては「安全な環境づくりに一段と注力してほしい」などの声があることを紹介しました。その上で、「元請は現場重視、下請は教育訓練重視の姿勢により、現場第一、安全第一で取り組んでいただきたい」と述べました。

このあと、安全衛生優良工事現場の表彰式に移り、辻高司・労務専門委員が表彰条件、選考過程と結果を発表し、優良事業所30社を表彰しました。被表彰者代表が古新会長から表彰状を受け取



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『組織で進める安全管理、みんなで取り組む安全活動、未来へつなげよう安全文化』と労働衛生スローガン『働き方改革で見直そう、みんなが輝く健康職場』を斉唱して作業の安全を誓い、大会第1部を終了しました。

小休のあと、第2部として、テレビで活躍中の著名経済アナリスト森永卓郎様（獨協大学教授）を招き、特別講演会を開きました。森永様は

2008年のリーマンショック以降の日本経済の動向を独自の視点で紐解きながら分かりやすく解説しました。ユーモアを交えた親しみやすい語り口に会場からは時折笑いがこぼれるなど出席者は熱心に同氏の講演に耳を傾けました。

最後に、若林尚史労務委員長が「労働災害の絶滅はわれわれの最大の責務であるとともに、安全対策、労災防止のノウハウをしっかりと次世代に伝えていくことが重要である」と述べ、大会の幕を閉じました。



「日本の経済」をテーマに講演する森永様



閉会の辞を述べる若林労務委員長

表彰会社名 (30社)

(株)朝日工業社大阪支社	鳳工業(株)	クウケン(株)
(株)クドウエンジニアリング	五建工業(株)大阪支店	斎久工業(株)大阪支社
三機工業(株)関西支社	(株)三晃空調大阪本店	敷島煖房工業(株)
主計管工(株)	新日本空調(株)大阪支店	須賀工業(株)大阪支社
(株)精研	ダイクウ(株)	大成温調(株)大阪支店
大成設備(株)近畿支店	ダイダン(株)大阪本社	高砂熱学工業(株)大阪支店
日建設備工業(株)	日本メックス(株)関西支店	日比谷総合設備(株)関西支店
(株)不二設備工業所	不二熱学工業(株)	(株)前田商会
(株)マサキ設備	丸住(株)	美和設備工業(株)
柳生設備(株)	山田工業(株)	若林設備工業(株)

第9回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計 42 人が腕を競う

学生の部 高坪友輝君が見事優勝

一般の部 小川正基氏が制す



当協会主催の第9回配管技能コンテストが8月19日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて42名が腕を競いました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、当協会が実施しているものです。協会のコンテスト実

行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校など多くの先生が審査委員・審査補佐委員としてバックアップしていただきました。

開会式で挨拶に立った古新亮英会長は、学校や関連団体など運営関係者の協力にお礼を述べるとともに、建設業界での人手不足・若年入職者の減少が問題となっていることに触れ、「コンテスト



学生の部優勝・高坪君(左)



一般の部優勝・小川氏(左)



水圧テスト(左)／サイズ審査(右)のよう



学生の部上位入賞者（前列）



一般の部上位入賞者（前列）

上位入賞者は次の通りです（敬称略）

【学生の部】

- 優勝 高坪 友輝（布施工科高校3年）
- 準優勝 中島 里瑛（彦根工業高校3年）
- 第3位 山下 恵美（東住吉総合高校3年）
- 第4位 金沢 優悟（布施工科高校3年）
- 第5位 西尾 友輔（布施工科高校3年）

【一般の部】

- 優勝 小川 正基（東和管工(株)）
- 準優勝 金田 東浩（東和管工(株)）
- 第3位 定行 良太（(株)藤井設備）
- 第4位 横谷 剛司（(株)藤井設備）
- 第5位 鹿島 健太（(株)豊新設備）

はこうした課題に対応するため、熟練技能工の育成、後継者の育成を目的にしてきた。素晴らしい作品ができることを期待する」と激励しました。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者21名（一般の部）、建築設備関連学科を履修中の北大阪高等職業技術訓練校、大阪工業技術専門学校、布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高校の学生・生徒21名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦しました。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では布施工科高校の高坪友輝君が優勝し、準優勝は彦根工業高校の女生徒、中島里瑛さんが獲得しました。3位にも東住吉総合高校の女生徒、山下恵美さんが入賞しました。

一般の部では東和管工の小川正基氏が優勝し、準優勝も同社の金田東浩氏が獲得しました。3位には藤井設備の定行良太氏が入賞しました。学生の部優勝者には大阪府知事賞が、一般の部優勝者には大阪府職業能率開発協会会長賞がそれぞれ授与されました。

表彰式の審査講評で小倉一浩審査委員長（布施工科高校教諭）は学生の部、一般の部とも「上位は大変な接戦で、きわめてハイレベルの大会となった」と講評しました。学生の部の表彰式で布施工科高校の植田篤司校長は「コンテストなので順位は付くけど、最後までやり遂げたことは長い人生の中で意義あるものとなる」と祝福しました。

中尾弘昭・技能コンテスト実行委員長は表彰式で関係者にお礼の言葉を述べるとともに、引き続き技能の向上に取り組んでいく決意を示しました。

コンテスト審査講評

小倉 一浩 審査委員長 (布施工科高校建築設備系)

—— 一般の部 ——

第9回配管技能コンテストが開催され、審査委員長を仰せつかり、無事終了しましたことを大空衛の役員の方々、設営・買出し・駐車番など多方面でご尽力いただいた青年部の皆様、またご関係の皆様にお礼申し上げます。

今回も上位入賞の方々は、優れた1級技能士であることを、明らかにする方々でありました。

1級技能検定実技試験では見ることのできないハイレベルの作品が多く、減点数がとても少ない方が多くありました。特に作品が完成した方21名の中で水圧試験をする前には、7名が基準点が一桁でありました。配管技能コンテストが定着し、第9回となり、コンテスト優勝の価値観向上を願うものであります。

優勝者の減点数は4点で、準優勝、3位の方は基準点が5点でした。寸法精度Ⅱは準優勝の方が27mmで過去の優勝者と遜色がないものでした。基準点が1点の方が水圧試験で漏れがあったことは、大変残念でした。寸法精度Ⅱが15点という、驚異的な記録でもあり、審査委員の平均値をとる出来栄え点が減点0点(5名が出来栄え減点なし)でもありました。

今年も僅差判定であり、準優勝と3位の差は寸法精度Ⅱの小差(5mm)であり、3位と4位、基準点同点で寸法精度Ⅰの2点差で順位が決まりました。以下、5位、6位も同様に基準点が同点で、寸法精度Ⅰの2点差で順位が決定しました。



審査講評を発表する小倉審査委員長

また、水漏れ失格者6名、欠席者3名でありましたが、未完成な方はいませんでした。15位までの順序付けが今回の結果であります。今回、特に感じたことに、厳しい採点基準にもかかわらず、出来栄えの減点が少なかったことがあります。銅管の接続も綺麗な方々が多く、ほとんどの方が制限時間一杯までねじ部分などの残留テープ除去など、仕上がりに「よいこだわり」を見せていただき、コンテストの価値向上に一層取り組みたいと感じる場でありました。

今回も学生たちによいものを見せていただきました。水漏れ箇所は、塩ビ管の接着剤忘れ(1名)、塩ビバルソケと銅管・銅管の接合部分からの漏れが残りの方でした。今回も多くの方にご参加いただき、一般の部に参加していただいた方々に改めてお礼申し上げます。学生たちと同じ場所で競技し、学生たちによい刺激を与えてくださり、ありがとうございました。

—— 学生の部 —— (今回から専門学校生も参加)

学生の部は、5学校21名が参加、欠席者はありませんでした。お盆明けの時期でしたが、大空衛主催の、このコンテストに対して、学生らしく真摯に取り組む姿勢が全員から感じられました。

2名が水漏れで失格となったことは、残念でし

た。中でも1名は、基準点の減点が0で、入賞に値する出来栄えでありました。優勝と準優勝の差は基準点がともに0点で、寸法精度Ⅱの差で順位が付きまして。今回の特徴で顕著なものとして、技能検定の基準では寸法減点が0点の人が15名でした（1名水漏れ）。技能検定では比較的減点の少ない「出来栄え」の差が順位を決定しました。

一般の部で最後まで作品を仕上げる、コンテストなので仕上げる。そういった気迫の差が作品に出たようであります。シールテープの残、ねじ山の切りあがりの綺麗さ、残り山数、半田の漏れの処置など、細部の点検と全体での傾き、ひずみ修正などが決め手となりました。特に寸法精度Ⅱが「1」であった作品は、寸法に限っての仕上がりとしては、過去8回の中でも類まれな作品の一つでありました。この選手が結果的に14位となりましたが、寸法精度Ⅱが一桁の17名はいずれも、僅差で順位が付き、まれにみる接戦でありました。

4位から10位について、7名が基準点2点で並び、4位と5位は寸法精度Ⅱがともに4であっ

たので、寸法精度Ⅱの内容を精査すると、同点であり、第9回目にして初めて「順位についてⅣ」により11対14のポイント差で、順位が決定しました。6位と7位の順位判定、9位と10位の順位判定も「順位についてⅢ」の基準で決まりました。以下も基準点の差が少なく、細かな採点基準で順位が決定しました。学生には、大空衛、滋空衛の両協会からのご支援があり、今回も練習回数により作品の優劣が付いたように思われます。

3級技能検定にない銅管についても、各学校での練習の成果が見られ、ろう付けの垂れる程度も少ない生徒が多く、見栄えも綺麗でありました。

また、今回の出来栄えの減点でも、以前多く見られた、塩ビバルソケを「なめる」生徒がほとんどいませんでした。工具の二丁使いなど練習を積んだと結果と思われます。それぞれに学生は、大空衛様、滋空衛様からの技術指導の継承の成果と思われます。学生粋を確保して下さった大会主催者の方々に心よりお礼申しあげます。

配管技能コンテストに参加して

☆☆ 優勝（大阪府知事賞）☆☆

大阪府立布施工科高等学校

建築設備系設備システム専科3年

高坪 友輝



私は1年生の時に配管実習を行い、興味を持ちました。それで配管技能検定3級を受検し、合格しました。2年生で設備システム専科に進級することを決めました。

2年生の時は部活動の日程と配管技能コンテストの日程が重なり、出場することができませんで

した。『来年は出たい!』とっていました。このコンテストと同様に、もう一つ大きな課題が設備システム専科にはありました。「全国技能五輪大会」に大阪府代表として出場することでした。そのために、2年生の冬には配管技能検定2級に

挑戦すると同時に「国競」として、技能五輪予選会にも出場しました。

3年生になると、配管技能検定2級を取得し、第55回技能五輪全国大会（栃木大会）の大阪府代表にも選ばれました。そして夏の配管技能コンテストを迎えました。秋には大阪府代表の一人なので、負けられない、『上位を狙って!』という思いで日々の練習に励みました。しかしながら私は、器用なタイプではなかったので人一倍練習をしました。一つひとつの作業を納得いくまで時間をかけて行いました。

そして、当日は不安で一杯でした。開会式が終わり、技能五輪に向かうことも紹介いただき、緊張感も高まりました。不安に打ち勝つように、焦らないようにと自分自身に言い聞かせながらの作業でした。いつも以上に“丁寧に”、“慎重に”作業に取り組みました。それでも『間違えたらどうしよう？ 失敗したらどうしよう?』とそんなことをずっと思いながら、何度も不安になりながら作業を続けました。やっと作品ができ上がると完成した喜び、作業の緊張感から早く解放されたいとの思いから、完成最後の寸法を測らずに提出してしまいました。微調整を忘れたことにとっても後

悔しかったです。食事時間を含む昼休憩が終わり、表彰式になりました。最初の知事賞で名前が一番に呼ばれました。とても驚き、喜びで一杯になりました。

こうして優勝することができたのも、応援・協力してくださった先生がたのおかげです。また、技術指導に来てくださった玉川様、池成様のご指導があったからだと思います。提出直前の寸法測定確認を忘れましたが、それまでの工程の中で一つひとつ玉川様、池成様に教えていただいた細かな確認作業の積み重ねがあつてこそ、途中作業の確認がよくできていたことで、ご指導いただいた細かな確認、検定でなく『1mmを競うコンテスト』で勝つ練習ができていたからだと思いました。本当にありがとうございました。この調子で11月に開催される技能五輪全国大会でも大阪府代表の一人として、良い成績を残せるように頑張りたいです。

春からは、建築設備技術者として『阪神施設調査株式会社』に入社し、阪神高速道路の道路以外のパーキングエリアや管制センターなどの施設建物を対象として、建築工事・管工事・点検・設計の仕事をしていきます。

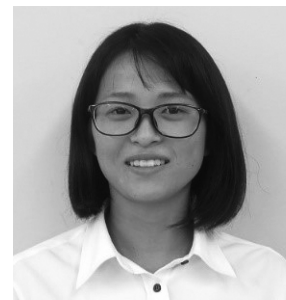
配管技能コンテストに参加して

☆☆ 準優勝 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

建設科3年

中島 里瑛



私は、配管の授業が楽しくてやりがいがあると思い、コンテストに参加しようと決めました。自信もなかったので夏休みの練習は皆より早く来て

頑張ろうと思っていました。練習で寸法がぴったりになったことがなかったので、コンテストは無

理かなと思っていました。

大会ではとても緊張するし、会場も思っていたより隣の人との距離が近いので周りを見ないようにしていました。大会が始まると、焦ることもなく落ち着いてできたのでよかったです。

表彰式で自分の名前が呼ばれるなんて思っていなかったので、準優勝と聞いてびっくりしました。

配管作業は最初苦手でした。でも、思い切って配管コンテストに挑戦してよかったです。

私は建築会社に就職します。今回のコンテストで、作業をする時しっかりと準備し、身の周りを整理整頓しながらすることの大切さを学びました。就職したら今回の経験を活かしていきたいです。

配管技能コンテストに参加して

☆☆ 第3位 ☆☆

大阪府立東住吉総合高等学校

住環境系列3年

山下 恵美



私は、東住吉総合高校に入学して系列を選択する時に、色々なコースがある中で、建設関係のことを学べる住環境系列を選択しました。そうして授業を受けて学んでいくうちに配管技能実習に出会いました。最初は、「こんなこと女子でもできるのかな？ 力が必要で厳しいかな？」と思っていました。

授業では、先生に基本から丁寧に優しく教えていただき、少しずつ作業の仕方を覚えて、慣れてきました。3年生になると、先生から褒められることも増えて配管作業が楽しくなって、実習の時間が楽しみとなってきました。

ある日、先生が「配管技能コンテストに出てみないか？」と声をかけてくれました。まったく予想していなかったのでびっくりしましたが、高校生活の思い出になればと思って参加することに決めました。夏休みの練習は、エアコンのない実習室で暑さと戦いながら、長時間の作業でした。連

日の作業で「しんどいなあ」と思ってくじけそうになりましたが、一緒にコンテストに出る友達や先生たちに励まされ、最後まで練習をすることができました。

コンテスト当日は、緊張で頭の中が真っ白になっていました。でも落ち着いて練習した通りやろうと思って作業を始めました。完成したときは、ホッとした感じでした。こんなに時間が早く感じたことはなかったです。

今回、第3位となり、思ってもいない結果でも嬉しかったです。学校でみんなの前で表彰していただき、とても貴重な経験ができたと思います。私は、卒業してからも、この経験を忘れないと思います。また一緒に練習した友達や先生たちには心から感謝しています。本当にありがとうございました。

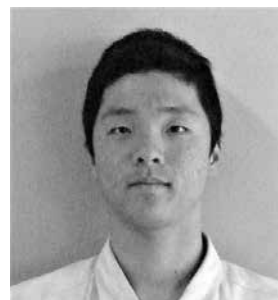
配管技能コンテストに参加して

☆☆ 第4位 ☆☆

大阪府立布施工科高等学校

建築設備系設備システム専科3年

金沢 優悟



私は1年のときに配管技能検定3級を受けて合格し、配管に興味を持ち、設備システム専科を選択しました。そして2年では配管技能検定2級に合格し、3年生で配管技能コンテストに出場することとなりました。

3年で最後の出場なので優勝を目指していましたが、4位という結果になってしまいました。入賞できたこと嬉しいですが、まだ自分より上に3人もいることは悔しいです。

私がここまで配管作業ができるようになり、資格に合格したことは、先生方の支えや指導にきていただいた方々のお陰だと、たいへん感謝しています。そして11月に技能五輪全国大会の配管職種に大阪代表として出場するので、皆様方の期待に応えられるように頑張り、よい結果を残したいと思います。春からは、『株式会社ナカノフドー建設』に入社し、設備技術者として働きます。

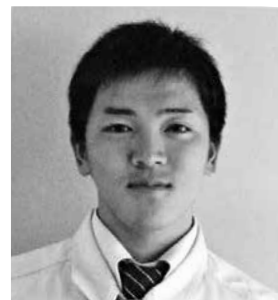
配管技能コンテストに参加して

☆☆ 第5位 ☆☆

大阪府立布施工科高等学校

建築設備系設備システム専科3年

西尾 友輔



私は、高校1年生のときに配管の実習をし、配管の楽しさを知り、配管技能検定の3級を受検し、合格しました。そして、2年生になり、建築設備系設備システム専科に進むことにしました。

2年生のときも配管技能コンテストに出たいと思っていたのですが、部活の大会と重なり出場できず悔しい思いをし、3年生になったら絶対に出ると決めました。3年生になり、配管技能コンテストに出たいと先生に伝え、校内予選を通過しました。出場が決まり、本格的な練習が始まり、玉川さん、池成さんをご指導くださいました。基礎基本から応用まで教えていただきました。鋼管・銅管・塩ビ管のそれぞれの特徴から細かく丁寧に教えていただいたので、その管の気持ちになって、管が施工してほしい配管

施工ができたように感じました。コンテストまで作品を数回作り、自信を持って臨みました。

コンテストの当日を迎え、不安や緊張感もありましたが、こんな大きな大会に初めて参加し、緊張感からすごく慎重に作業をすることができ、いつもより余裕ができました。

私は、自信を持って1位と思ったのですが、5位でギリギリ入賞でした。少し嬉しさもありましたが、悔しさのほうが多かったです。沢山の方々にご支援を頂き、多くの方々が応援してくださり、本当にありがとうございました。来年は参加できないので後輩に優勝してもらいたいと思いました。春からは、『東テク株式会社』に入社し、設備技術者として働きます。

平成29年度 第55回技能五輪全国大会 (栃木県宇都宮市 マロニエプラザ)

5年連続 大阪府選手団に配管職種で出場!

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

1. はじめに

日頃よりお世話になっています、今回も報告させていただく機会をいただき、改めてお礼申し上げたいと思います。

大阪府五輪予選を通過した本校生が第55回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。

2. 全国大会に参加して

11月23日(木)に開催地である栃木県に入り、24日(金)は午前中、宇都宮市(マロニエプラザ)に向かいました。宇都宮市は餃子で有名?になっており、駅前の餃子店は6時30分より開店していました。

午後から栃木県総合体育館で全体の開会式がありました。

25日(土)の競技当日は早朝より会場に入り、開始の合図を迎えました。

準備の日に確認したので、ほぼ昨年同様で、塩ビ管継手エルボが3つ多いことで、立体感があることがわかりました。

2人とも順調に、昼前に銅管曲げ作業などを終え



配管作業中の金沢君

て、余裕をもって後半を迎えました。金沢君は最後に時間が不足し、水圧器をセットできなかったため、残念ながら『終わりました』と完成の意思表示ができませんでした。

高坪君も疲れが出たのか? 完成しましたが、最



配管作業中の高坪君

後に15A銅管曲げ加工の頂部につけるプラグの締め付けが甘く、水漏れをしてしまいました。何度も練習して挑みましたが、本番で自分の力を発揮することができずに作業を終了しました。

本大会を体験できたことで、練習で発揮できていた自分の力を出すことが、如何に大変かを知ることができたようでした。4月から仕事場で力が発揮できるように、社会人になってからこそ、努力を続けてほしいと思いました。5年連続出場は高校では、今大会では最多となり、来年出場できれば歴代の高校で連続出場最多タイとなります。大阪空気調和衛生工業協会には、生徒が練習する材料費の支援を賜り誠に感謝しております。

3. 金沢君と高坪君の感想

野球部の大会が終了(7月下旬)すると、技能五輪の配管練習を本格的に始めました。昨年より時間的な余裕があり、練習も充分できたので上位を目指しましたが残念でした。銅管曲げはしっかり教えていただいたので、かなり自信がありました。しかし、当日の出来は自己最低で、他選手の作品は自分の作品よりも綺麗でした。それでも、自分達で力の限り頑張り、作業を終了しました。よい経験ができ、後輩に伝えていきたいです。大阪空気調和衛生工業協会の皆様や技術指導していただいた多くの方のお陰です。ありがとうございました。

官公庁との懇談会開催報告

国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会

(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部は昨年12月1日、国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会を大阪市中央区のシティプラザ大阪で開催し、下請企業の社会保険未加入問題、週休2日実現への適正工期の設定などについて意見・情報交換した。

今回の第14回懇談会には国交省から4人、近畿支部から16人が出席。社会保険未加入問題については、国交省側から「元請企業が2次以下の下請が社会保険に加入しているかどうか、施工体制台帳や作業員名簿で確認してほしい」とする要望が出された。また、週休2日に向けた取り組みについては、「週休2日を考慮した工期を設定し、請負代金に適切に反映させるよう工期連動型の共通費算定を行っている」とする国交省の取り組みが示された。さらに、工期終盤に集中する設備工事への対応については、国交省側からは「改正品確法を踏まえ、適切な「概成工期」の設定を行うことにしている」との取り組みが示された。

このほか、法定福利費に関連する事柄や営繕工事の発注情報メール配信サービスについて国交省から情報提供が行われた。



大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会

(一社)大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月20日にシティプラザ大阪で大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催し、社会保険未加入者の扱い、適正工期と予算措置、建築・設備の各工事との工程進捗調整などについて質疑応答を行った。

懇談会には大阪府から3人、大空衛から10人が出席。社会保険未加入者の扱いについて府からは「来年度以降、2次下請以下を含めた下請業者を社会保険加入者に限定する取り組みを導入する。契約局からHPで公表しているが、大きく2点ある」とし、一点目は、平成30年4月から契約書において社会保険未加入である建設業許可業者を下請負人とすることを禁止することとした。二点目は、同年10月からは下請負人である建設業許可業者の社会保険加入が確認できない場合、受注者に対し入札参加停止措置及び工事成績評定の減点を実施することとした——との回答があった。

適正工期の設定及び必要な予算措置への取り組みについて大阪府は「来年度以降、実際の現場での週休2日導入の取り組み状況を確認するため、具体的な現場でのモニタリング調査の実施を検討している」とする回答が示された。

このほか、大阪府から、総合評価入札方式(省エネ技術提案型)の取り組み状況、E S C O事業についての情報提供があった。



平成 29 年度 安全パトロールを実施

新日本空調(株)大阪支店 管理部 新原 辰美

近畿中央胸部疾患センター病棟等建替整備工事を巡回



平成29年10月11日（水）、一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会は平成29年度安全パトロールを下記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導と、安全労務専

門委員の総合安全研修を兼ねて行っています。

安全パトロールで巡回した現場は、近畿中央胸部疾患センター病棟等建替整備工事であり、既存建屋を解体し、新築病棟を建設する工事です。

巡回メンバー（敬称略）

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

◇協会事務局

林 寿二（専務理事）

◇安全労務委員

稲岡 栄治（三機工業株）

宮路 直人（㈱朝日工業社）

堤 英治（須賀工業株）

辻 高司（日比谷総合設備株）

新原 辰美（新日本空調株）



巡回メンバー

巡回した作業所の工事概要

○解体工事範囲及び新築工事範囲

今回の工事は既存建屋を解体し、新たに新築建屋を建設する工事

○工事名称

独立行政法人国立病院機構近畿中央胸部疾患センター病棟等建替整備工事

○工期

2016年4月1日～2018年11月30日

○工事場所

大阪府堺市北区長曾根町1180

○建物概要

工種＝新築 建物用途＝病院 構造＝鉄骨造（免震構造）

階数・高さ＝地上8階・地下階、塔屋なし。地上30.98m

敷地面積＝82,543.81㎡ 延床面積10,880.80㎡

○発注者

独立行政法人国立病院機構

○設計

株式会社山田総合設計

○請負者

建築工事＝戸田建設株式会社

空調・衛生設備工事＝新日本空調株式会社

電気設備工事＝三和電気土木工事株式会社

○請負形態

分離発注

○竣工イメージ図



○空調設備概要

空調方式＝直膨形外気処理PAC、空冷ヒートポンプエアコン、ガスヒートポンプエアコン

換気方式＝直膨形外気処理ユニット、全熱交換器

○衛生設備工事概要

給水設備＝加圧給水ポンプ方式 給水系統＝上水のみ、中水設備なし

給湯設備＝連結型ガス給湯器による中央式給湯方式

排水設備＝屋内汚水雑排水分流方式、屋外合流方式

通気設備＝ループ・伸頂通気方式

都市ガス設備＝敷地内埋設都市ガス配管より延長し、屋上GHP、給湯器、コージェネに供給する

消火設備＝スプリンクラー設備、連結送水管設備

○医療ガス設備工事概要

酸素配管設備＝定置式液化酸素供給装置を設置し、各室の末端機器に供給する

空気配管設備＝圧縮空気供給装置を設置し、各室の末端機器に供給する

吸引配管設備＝吸引供給装置を設置し、各室の末端機器に供給する

工事内容説明

多田所長から工事内容について説明を受けました。既存建屋解体に伴う既設配管類撤去移設に関して、竣工図に記載されていない配管が多数あり、系統を調査し、使用しているか、使用していないかを確認しながら慎重に撤去作業を進めていかれたようです。



朝礼場及び休憩場所

現場内の随所に作業員の衛生面に対する配慮がされていました。



朝礼場に人工芝を張り詰め、遮光ネットを取り付けて熱中症対策



シャワー室を設置



常に休憩室を冷房して熱中症対策



休憩室に畳を敷いて、昼休憩時に昼寝ができるよう配慮



安全帯試行ゾーン



体調確認用一本橋

職長会活動

積極的に職長会活動が行われていました。



職長会メンバー表



伝言掲示板に作業員の要望事項を書き込んでいる

床スリーブ開口養生

設備用スリーブ開口養生が確実にされていました。



資材置き場

資材置き場を区画し、表示をしていました。



床貫通作業

床開口作業下階でバケツで火花受けをし、作業場所の区画がされていました。



地這配線防止用フックの設置



電動工具持込み許可シール=本現場特有の許可シールを作成し電動工具に貼付



ガスボンベの管理=ガスボンベの点検表はあったが、取扱い責任者名が未記入のため、記入するよう指示



重機の点検=バックホウの点検を確実に実施

総 評

本現場は、非常によく管理された現場で、分離発注現場ですが、建築、電気、設備がひとつにまとまって現場を納めているという印象を受けました。

長丁場の現場ですが、このまま無事故無災害を継続していただけるようお願いをしてパトロールを終えました。今回の安全研修は、非常に参考になる点が多く、今後の安全パトロールに生かせる有意義なパトロールでした。

賛助会員「新技術・新商品説明会／懇親会」開催

協会は平成29年9月21日と11月28日に賛助会員による新技術・新商品説明会を開催しました。11月の説明会のあとは賛助会員との懇親会も催し、交流を深めました。



9月の説明会は協会事務局のある新トヤマビルの3階貸会議室で開催し、会員27名が出席。冒頭、協会の北村広外志経営委員長から、「協会として初めての取り組みとなるもので、今後も参加者の意見を踏まえ継続していきたい」と挨拶。続いて、賛助会員のリンナイ、川重冷熱工業、多久製作所、東洋バルブ、TOTOの5社から新技術・新商品が紹介されました。

リンナイからは「50号業務用給湯器スリムタイプ」の優れた特徴が説明されました。また、川重冷熱工業からは小型貫流ボイラ「ウィルヒート」の高耐久性・高質蒸気・高効率・省電力がアピールされました。多久製作所からはSUS配管のフランジレス接続継手（消防認定品）が紹介され、連結送水管への活用も提案されました。

東洋バルブからは業務提携会社である東尾メック製の「SU管用新拡管継手・KKベスト」について、レンチ不要、施工時間短縮などのメリットのほか、施工ミスや施工責任トラブルの防止など信頼性の確保が強調されました。TOTOからは「水の流れをデザインする技術」について、空気を全く混ぜないことで水流の乱れを一切なくした美しい吐水のシャワー、「水を増幅する技術」では、流量を大幅に増幅し洗浄する新洗浄方式の大便秘器、「水に除菌効果を付与する技術」では排水口を除菌しきれいな状態に長持ちさせる新技術を搭載した自動水洗・小便器が紹介されました。

説明会時に出席者にアンケート調査を実施しました。各設問について一番多かった回答を右に記します。



9月の新技術・新商品説明会
(円内は挨拶する北村経営委員長)

- ◇全般的な感想＝良かった（71％）
 - ◇全般的な説明時間＝適当であった（48％）
 - ◇各社の適当と思う説明時間＝15分（33％）
 - ◇今後の参加について＝都合がつけば参加する（86％）
 - ◇希望する話題・項目（複数回答）＝若年層の育成（48％）、生産性向上（29％）
 - ◇説明会の開催方法＝単独開催（67％）
- アンケートではこのほか、今後の進め方についてのご意見やご感想も募り、会場のスペースや照明、受講者の人数、説明用資料、説明内容・時間——などについて良かった点、改善点のご提案などの声をいただきました。



11月の説明会は梅田のハービスENTオフィスタワー9階の貸会議室で開催し、会員、賛助会員あわせて76名が出席。賛助会員の因幡電機産業、オーケー器材、TOTOの3社から新技術・新商品が紹介されました。

因幡電機産業からは天吊り空調機の振れ止め支持金具についてボルト固定式の新タイプを発売したことが紹介され、施工性抜群、仮止め可能、耐



11月の新技術・新商品説明会



挨拶する古新会長

震性能確認済み（重量100kg以下、吊長さ1500mm以下）の特徴が説明されました。また、防火区画貫通部材（大臣認定品）についても新耐火テープ冷媒タイプSの紹介が行われました。

オーケー器材からは「ビル用マルチ冷媒配管新工法」(プレジョイントシステム)の紹介が行われ、その中でビル用マルチを取り巻く動向として①建設作業熟練工の不足②業務用エアコンの更新比率80%③ビル用マルチの出荷台数がバブル期の2倍——の現状の中、新工法(プレジョイントシステム)の施工の容易性が威力を発揮すると説明されました。

TOTOからはトイレ「ネオレストNX」に結集された最新技術が紹介されました。同商品は、視認性と清掃性を追求し、新トルネード洗浄を実現した「Uターン導水路」の衛生陶器で、ノズルから流速の違う洗浄水を交互に連射。さらに一粒一粒に空気を混ぜることで大粒化し、快適な洗い心地を実現した「新おしり洗浄技術」を搭載していることが紹介されました。併せて、LGBT(性的少数者)に配慮したTOTOの新しいトイレの考え方の紹介もありました。

この説明会のときも出席者にアンケート調査を実施しました。主要設問の最多解答を下記に掲げます。

- ◇全般的な感想＝良かった（64%）
- ◇全般的な説明時間＝適当であった（86%）
- ◇各社の適当と思う説明時間＝20分（61%）
- ◇今後の参加について＝都合がつけば参加する（59%）

◇希望する話題・項目（複数回答）＝生産性向上（41%）、働き方改革（38%）

◇説明会の開催方法＝交流懇親会と併せて開催（64%）

アンケートでは、今後の進め方についてもご意見やご感想を募り、「新商品では優れた点だけでなく、注意点も説明してほしい」「質疑応答の時間をもっと取ってほしい」「より多くの賛助会員の説明機会を設けてほしい」などの要望意見をいただきました。



説明会のあとの懇親交流会

説明会のあと、会場を5階の中華レストランに移して、77名で懇親会を開催しました。席上、協会の古新亮英会長は、参集にお礼を述べるとともに、「空衛業界について、働き方改革が叫ばれているが、将来の担い手をいかに確保していかかが問われている。そのためにも、われわれの業界がいかに魅力的であるかを発信していきたい」と挨拶し、乾杯の音頭をとりました。このあと、会員、賛助会員を交えて和やかに交流しました。

4 団体協議会を開催

「社保問題」「働き方改革」で意見・情報交換



当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する4団体協議会の第26回会合が昨年11月27日に協会事務局のある新トヤマビル3階の会議室で開かれ、「社会保険未加入問題」、「働き方改革」「建設キャリアアップシステム」などで意見・情報を交換しました。

会合には4団体から8名が出席。まず、保険未加入問題について事務局から「建設工事における社会等未加入対策の取り組み強化」と題する資料の説明に続き、意見交換しました。この中では、「ゼネコン、サブコンから現場入場の業者に社会保険に加入するよう指導はされているが、現場では特にトラブルは起こっていない」「スーパーゼネコンからは、グリーンサイトで確認し加入していないと指導を促す文面がきた」「今のところ、一人親方の扱いについては何も聞かない」といった状況が報告されました。

また、「働き方改革」については、事務局から「建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン」などの説明に続き、意見交換が行われました。この中で、「最近、官庁からの改革推進の指導もあり、ゼネコン内で意識が高まっているようで、アンケートを取りながら調査しはじめています」「日建連が本腰を入れ始めたが、本来もっと早くに推進方策を打ち出すべきだった」などの意

見が出されました。ただ、一方で、「50代の労働者が多く、数年後、現場で人数を確保できるであろうか。現場の待遇よりも金銭面と人材確保の比重が高くなる恐れがある」「天候に左右される職種でもあり、また工程が守られていないのが現実で、設備ばかりにしわ寄せがくる。どのゼネコンも工期が遅れ、倍ぐらい人材を確保しないと現場が治まらず、職人不足は深刻な問題といえる」「前工程の段階で昔に比べて短くなっていて、現場を進めながら変更することが多い。工程通り進まない理由のひとつ」「設計事務所の力が弱くなっているのも気にかかる。顧客に対して強くいえない背景があるのでは。ゼネコンも設計事務所には強くはない」など、働き方改革には多くの課題があることも浮き彫りになりました。

「建設キャリアアップシステム」については事務局から資料が説明されて意見交換しましたが、「何をやりたいのか意図が見えてこない」「中小企業を中心としたコスト負担に配慮した格好だが、登録料などすぐには難しい」「ID化にすることで若い人を意識しているつもりだろうか」「職人としての腕を客観的に評価するにしても、評価基準もあいまいで職人の引き抜きなど起こり得る」「グリーンサイトとの棲み分けが必要ではないか。できれば一元化してほしい」といった様々な課題が出されました。

第44回野球大会

ダイダン(株) 3年ぶり優勝

優勝	ダイダン(株)大阪本社	準優勝	(株)朝日工業社大阪支社
第3位	新菱冷熱工業(株)大阪支社	第4位	若林設備工業(株)

最優秀選手賞 山賀 真人 (ダイダン(株)大阪本社)
敢闘賞 山口 智義 (株)朝日工業社大阪支社)

第44回野球大会は、平成29年10月18日、20日、26日の3日間にわたり、舞洲運動広場で開催されました。18チームでの熱戦が繰り広げられた結果、ダイダン(株)大阪本社が3年ぶりの優勝を遂げ、昨年(準優勝)の雪辱を果たしました。

開会式で協会の林寿二専務理事は「会員相互の親睦とリフレッシュとしてケガのないように頑張ってもらいたい」と挨拶しました。

斎久工業(株)大阪支社の田中達矢選手が力強く選手宣誓をした後、白熱した試合が展開されました。26日の閉会式では、林専務理事より見事優勝したダイダン(株)大阪本社チームへ優勝旗と表彰状が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへカップ、賞状などの授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社・中野隆久関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾の授与が行われました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



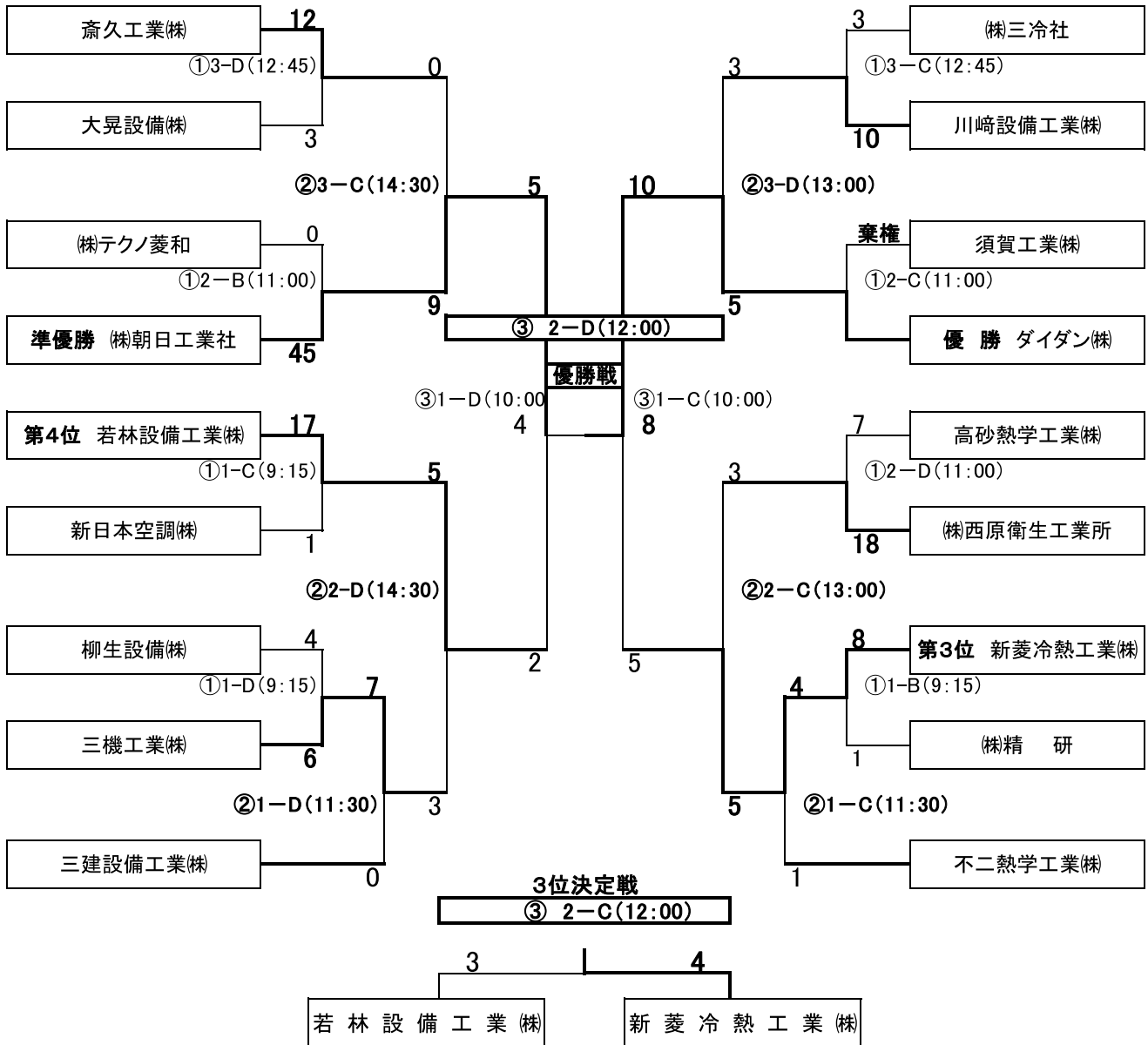
林専務理事による開会挨拶





3年ぶりの優勝を果たしたダイダン(株)大阪本社チーム

第44回野球大会組合せ表





準優勝の朝日工業社大阪支社チーム



第3位の新菱冷熱工業株式会社大阪支社チーム



第4位の若林設備工業株式会社チーム



林専務理事(左)からトロフィーを受ける最優秀選手・山賀選手



林専務理事(左)からトロフィーを受ける敢闘賞・山口選手

観戦記 決勝戦

(株)朝日工業社 VS ダイダン(株)

(株)朝日工業社 加藤 慧

	1	2	3	4	5	6	7	計
(株)朝日工業社	0	1	2	0	1	0	0	4
ダイダン(株)	1	1	0	1	1	4	×	8

今大会の決勝戦は先攻 朝日工業社、後攻 ダイダンで試合開始です。両チームとも会社からの応援もあり、緊張感のある白熱した試合が始まりました。

先発ピッチャーは朝日工業社 木原投手、ダイダン 河合投手です。

試合はすぐに動きまわりました。1回裏にフォアボールと盗塁でランナーを出すと、パスボールの間に三塁走者が生還しダイダンが1点を先制します。不運な形で先制点を奪われた朝日工業社は2回表、ヒットと死球で出塁し、ダブルスチールにてランナー2、3塁とすると、ワイルドピッチによって3塁ランナーが生還し、すぐさま同点に追い

つきます。その後も勝ち越しのチャンスでライト前へ落ちそうな当たりを放ちますが、ここはダイダン長元選手がファインプレーを魅せ、逆転のチャンスを潰します。すると2回裏、これまたダイダン長元選手がライト前へ鮮やかなタイムリーヒットを放ち、見事に勝ち越しに成功！

しかし、3回表でした。ヒットなどでランナー2、3塁とすると朝日工業社山口選手が右中間に2点タイムリースリーベースヒットを放ち、逆転に成功！ダイダンはここで不運にも1回戦からMVP級の活躍を見せていた山賀選手が負傷し、選手交代します。この勢いで朝日工業社が終盤までリードをしたまま突入すると思われましたが、4回裏ワイルドピッチによりダイダンが再び同点に追いつき、ここからはシーソーゲームに拍車がかかります。5回表、ワイルドピッチにより朝日工業社が再逆転に成功。しかし、喜びも束の間、その裏に内野ゴロを捕球後、ファーストへの悪送球の間に3塁ランナーが生還し、またまたダイダンが同点とします。

しかし、そんなシーソーゲームに終止符を打ったのは高橋監督率いるダイダンでした。6回表の朝日工業社の攻撃をなんとか0に抑えると、6回



準優勝チーム代表(右)にカップを授与



第3位チーム代表(右)にカップを授与

裏、塁をため、井上選手がセンター前へタイムリーヒットを打ち再逆転！続く佐藤選手の内野安打と、守備側の送球が乱れた間に2点追加、さらにワイルドピッチで1点追加し、この回に一挙4点を追加しました。

そして迎えた最終回、ここを抑えれば優勝が決まるダイダンは、準決勝から連投のエース河合投手が気合の入った投球を続け、最後はサード中山選手の好プレーによるダブルプレーで締めてゲームセットとなり、3年ぶり3度目の優勝を決めました。

終わってみれば4対8でという結果ですが、決勝戦に相応しい、両チーム一步も譲らぬ試合展開となり、大いに球場は盛り上がりました。優勝されたダイダンはチーム一丸となった全員野球での勝利でした。ダイダンの選手のみなさん、本当におめでとうございます！



観戦記 3位決定戦

若林設備工業(株) V S 新菱冷熱工業(株)

(株)精研 溝畑 貴也

	1	2	3	4	5	6	7	計
若林設備工業	1	0	1	0	0	0	1	3
新菱冷熱工業	0	0	2	1	1	0	×	4

若林設備工業と新菱冷熱工業の3位決定戦です。先発投手は若林設備工業 谷川投手、新菱冷熱工業 大西投手で試合開始です。

試合は初回から動きました。先行若林設備工業の山本選手の外野フライにより、3塁ランナーが

タッチアップで1点先制に成功。その裏の攻撃で新菱冷熱工業先頭打者の吉田選手がヒットにより出塁しましたが、その後凡退。2回は両投手共ランナーを出しますがゼロで抑えます。

3回表若林設備工業の小笠原選手のセンターへ抜ける2ベースヒットで1点追加します。しかしその裏の攻撃で、新菱冷熱工業の反撃です。森(匠)選手の3ベースヒットで1点追加、続いて小松選手のヒットで1点追加し2対2の同点へ、試合を振り出しに戻します。

その後4回、5回、6回と得点なしに終わった若林設備工業に対し、新菱冷熱工業は4回に今津選手の勝ち越しヒットで1点追加、5回は森(薫)選手のショートゴロかと思われた打球がエラーになり1点追加、6回は大西選手、今津選手、吉田選手のヒットで、満塁となり一気に試合を決めるかと思われましたが、その後三者凡退に終わり、6回終了時点で2対4と若林設備工業が2点ビハインドで7回の攻撃に向かいます。

若林設備工業は、昨年3位の実力で粘りの攻撃をみせます。先頭打者は凡退しますが、続く佐野選手は鋭い選球眼で4ボールを選び、谷川選手はピッチングでの疲れをまったく見せないバッティングで2ベースヒット、一気にピンチになった新菱冷熱工業はピッチャーを小松選手に交代。

しかし、変わってすぐにワイルドピッチで若林設備工業1点追加、勢いこのままに追加点を狙いますが、続くバッターが2ゴロで3アウト、ゲームセット。

両チーム共、選手・ベンチ一体の素晴らしい雰囲気で大変見ごたえのある試合となりました。最終スコアは若林設備工業3点、新菱冷熱工業4点という接戦になりました。選手の皆さん、お疲れ様でした。

平成29年度大空会ゴルフ大会開催

三木氏が見事優勝

平成29年11月22日（水）に、奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で48名が参加して恒例の第13回大空会ゴルフ大会を開催しました。

競技結果は次のとおりです。

競技結果（敬称略）

- ◇優勝 三木 久雄（株川本製作所）
- ◇第2位 須藤 亨（三神工業株）
- ◇第3位 植田 篤史（鳳工業株）



古新会長による始球式



古新会長（左）から三木様へ優勝カップ



準優勝の須藤様（右）



表彰式を兼ねての食事会



第3位の植田様（右）

平成29年度ボウリング大会

団体戦 ダイダン(株)チームが優勝

当協会恒例の福利厚生事業・ボウリング大会は平成29年11月29日(水)に桜橋ボウルで開催しました。今回は19チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点のボーナス点加算)はダイダン(株)が見事優勝しました。個人戦(女子ボーナス点加算)では安部裕樹様(斎久工業(株))が優勝しました。



優勝・ダイダン(株)チーム



準優勝・川崎設備工業(株)チーム

試合結果

◇団体戦

優勝	ダイダン(株)大阪本社	987ピン
準優勝	川崎設備工業(株)西部支社	929ピン
第3位	新菱冷熱工業(株)大阪支社	919ピン

◇個人戦(敬称略)

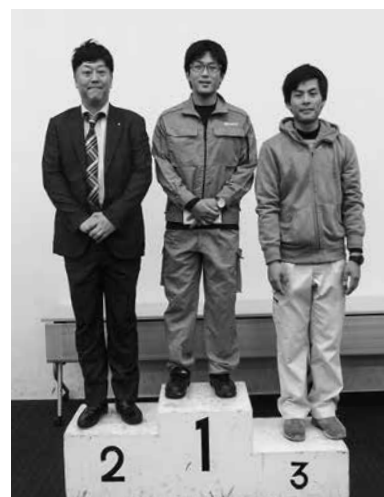
優勝	安部 裕樹(斎久工業(株)大阪支社)	362ピン
準優勝	高橋 宏幸(ダイダン(株)大阪本社)	358ピン
第3位	加藤 正庸(川崎設備工業(株)西部支社)	330ピン

◇ハイゲーム賞(敬称略)

男性	小簀 大介(東洋熱工業(株)大阪支店)	192ピン
女性	西村 真希(川崎設備工業(株)西部支社)	141ピン



第3位・新菱冷熱工業(株)チーム



個人戦上位入賞者

告知板

○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入(4,000円×3月までの月数)。

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入。

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月20日(火)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪
4月4日(水) 5日(木)	新入社員研修	電設健保センター
5月15日(火)	当協会第45回定時総会	リーガロイヤルホテル大阪
9月8日(土)	第10回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校

研修会を開催

協会青年部会（中山裕章会長）は、昨年9月12日午後2時から4時30分まで大阪府立労働センターで研修会を開催し、防衛問題とタイムマネジメントについての講演を聴講しました。

今回の研修は、近畿中部防衛局次長の城戸謙憲

様と人材育成コンサルタントの森川あやこ様を講師に招いての講演会となりました。

城戸様は「日本の防衛について」をテーマに講演し、森川様はタイムマネジメント～時間コントロールで仕事をスムーズに～と題して講演しました。



講演する城戸様



講演する森川様



研修会のもよう

募金活動に日赤から表彰状

青年部会が各種の協会行事などで実施し、ご来賓、会員、賛助会員の皆様からご支援いただいております当協会の募金活動が評価され、平成29年11月20日、日本赤十字社大阪府支部から表彰され

ました。

同日、シェラトン都ホテル大阪で開催された平成29年度大阪府赤十字大会で同支部から表彰状が授与されました。

大阪マラソン大会に備え「クリーンUP」



「クリーンUP作戦」参加者



路上をくまなく清掃奉仕

青年部会は、11月26日に3万2000人以上が参加して開催された第7回大阪マラソン2017に先立ち、同月21日に協会事務局のある新トヤマビル(大阪市中央区)周辺の路上の清掃奉仕「クリーンUP

P作戦」を実施しました。

参加者15名は、路上のゴミなどを収集してきれいにし、国内有数の市民マラソン開催に備えました。

「管工機材・設備総合展」に協賛

大阪管工機材商業協同組合(理事長久門龍明氏)主催の2年に一度の一大イベント「第18回管工機材・設備総合展OSAKA2017」が昨年9月7～9日の3日間、大阪・南港のインテックスで開催され、当協会も協賛団体として参画しました。

今回は、メインテーマに「体“管”実“管”“管”動発信」、サブテーマに「次代をひらく流体テクノロジー」を掲げ、181の企業・団体が出展。出展ブースも322小間(前回308小間)と過去最大規模での開催となり、前回(1万4622人)を大きく上回る1万5073人の来場者で賑わいました。



テープカットに臨む当協会の城口俊雄副会長(中央)

平成30年度

初級技術者のための 基礎知識研修会受講ガイド

主催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会近畿支部

協賛 一般社団法人 建築設備技術者協会近畿支部
一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会
一般社団法人 電気設備学会関西支部〈予定〉

開催日 平成30年5月7日（月）～5月11日（金）

場所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）5階 視聴覚室
大阪市中央区北浜東3-14（TEL:06-6942-0001）

定員 100名（申込み順で、定員になり次第締め切ります）

受講料 1) 全講座・受講（会員）30,000円（非会員）40,000円
2) 空調・受講／給排水・受講（会員）20,000円（非会員）25,000円

※当協会より受講申し込みの場合は会員価格となります。

いずれもテキスト代を含みます。なお、テキストは受講を前提にしてお渡ししていますので、テキストのみの販売は行っていません。

テキスト パート毎に担当講師作成の資料を受講者に当日お渡しします。

受講内容には計算を伴う演習がありますので電卓を用意してください。

申込締切 平成30年4月20日（金）

申込方法 下記の事務局までメールにてお申し込みください。

受講料のお支払いは銀行振込でお願いします。銀行振込先は次の通りです。

振込手数料は、申込者にてご負担下さい。

振込先：三井住友銀行 備後町支店 普通預金0111689

公益社団法人 空気調和・衛生工学会

振り込み確認後、受講票及び会場案内を郵送でお送りいたします。

受講料は払戻しいたしませんので、当日参加できない場合は代理参加も可能です。

詳細は、下記の工業協会事務局まで お問い合わせください。

申込先 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20

新トヤマビル3階

電話 06-6271-0175 FAX 06-6271-0177

Email : inoue-a@tenor.ocn.ne.jp

基礎知識研修会カリキュラム

区 分	日 程	時 間	題 目
共 通	5月7日(月)	9:30～11:00	建築設備の知識
		11:10～12:30	電気の知識
		13:30～15:30	設備図面の知識
		15:40～17:40	施工と安全管理
給排水	5月8日(火)	9:30～12:30	給水・給湯設備
		13:30～15:30	衛生器具設備
		15:40～17:40	消火設備
	5月9日(水)	9:30～12:30	排水・通気設備
		13:30～15:30	排水処理設備
		15:40～17:40	配管と材料
空 調	5月10日(木)	9:30～11:00	室内環境
		11:10～12:30 13:30～15:00	空調負荷
		15:10～18:00	空調・換気設備
	5月11日(金)	9:30～12:30	湿り空気線図
		13:30～16:00	熱源設備
		16:10～17:40	排煙設備

受講の組合せは下記の通りとなっています。各コースから一つを選んで下さい。

受講コース名称	共 通 (5月7日)	給排水 (5月8・9日)	空 調 (5月10・11日)
全 講 座	○	○	○
給 排 水	○	○	×
空 調	○	×	○

2018年



迎 春

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (79社)

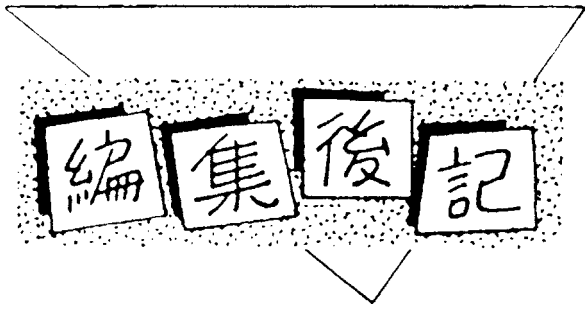
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	島設備工業(株)	井上 暎夫
(株)上杉工業	林 一也	主計管工(株)	中井 主蔵
浦安工業(株)大阪支店	八里 増樹	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
(株)江坂設備工業	中村 昭一	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
エルゴテック(株)西日本支店	斎藤 達志	新日本空調(株)大阪支店	伊藤 雅基
オーディーエー(株)	織田 守彦	新菱冷熱工業(株)大阪支社	小松 良行
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
鳳工業(株)	齊藤 久克	(株)精研	上野 俊信
奥田商工(株)	奥田 孝子	第一工業(株)大阪支店	高木 信幸
影近設備工業(株)大阪支店	影近 義之	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
川崎設備工業(株)西部支社	小島 泰進	大貴設備(株)	田窪大五郎
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	ダイクウ(株)	中村 淳一
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	大晃設備(株)	樋上 雅一
木村工業(株)	木村 之彦	大成温調(株)大阪支店	今井 康之
協伸工業(株)	森岡 晟	大成設備(株)近畿支店	木本 一義
(株)共進社工業所	山内 昇平	ダイダン(株)大阪本社	古新 亮英
享和設備(株)	竹本 和正	大熱工業(株)	藪本 繁明
クウケン(株)	植野 教夫	(株)大和商会	玉置 哲也
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	高砂熱学工業(株)大阪支店	植野 壮二
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	(株)タカネツ	高木 徳康
五建工業(株)大阪支店	安田 実	田丸産業(株)	堀田 高志
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	(株)テクノ菱和大阪支店	星野 宏一
三機工業(株)関西支社	白木 博之	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	東洋熱工業(株)大阪支店	平田 順一
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)錦	廣田 典子
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	日建設備工業(株)	三井 正雄
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	(株)日設関西支店	古橋 誠治
敷島煖房工業(株)	土橋 誠二	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	杉本 卓	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
日本メックス(株)関西支店	上野 晴夫	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)関西支店	古閑 一誠	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	山 田 工 業 (株)	中道 保信
富士古河E & C(株)西日本支社	宗清 公彦	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史
(株) 北 祥	澤村 幸雄		

賛 助 会 員

(65社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	武田 和行	タ カ ラ 通 商 (株)	川西 雅裕
アルファ・ラバル(株)大阪支社	酒井 雅史	(株) 多 久 製 作 所 建 築 ・ 設 備 カ ン パ ニ ー 中 日 本 営 業 統 括 部	清水 正行
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タ ブ チ	小西 伸二
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
因幡電機産業(株)	田代 浩明	(株) 電 巧 社 大 阪 支 店	梅田 正幸
井下機器(株)大阪支店	川口 達也	東 西 化 学 産 業 (株) 大 阪 本 社	河野眞一郎
英 和 商 工 (株)	尾名 亮三	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	小山 馨
荏原実業(株)大阪支社	安部 奨介	T O T O (株)	吉田 伸典
(株) 荏 原 製 作 所 西 大 阪 支 店	宮沢 一夫	T O T O 関 西 販 売 (株)	妹尾 昌一
(株) オ ー ケ ー エ ム 大 阪 支 店	岡崎 洋	東 洋 バ ル ヴ (株) 西 日 本 営 業 部	山本 育夫
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	(株) ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	藪川 洋一
(株) 大 岩 マ シ ナ リ ー 関 西 支 社	岸田 明彦	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
(株) カ ナ デ ン 関 西 支 社	恒川 幸夫	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	ニ ッ タ (株)	清水 孝哉
(株) 川 本 製 作 所 大 阪 支 店	三木 久雄	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	大友 春久
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	三宅 規夫
協立エアテック(株)大阪支店	宮田 篤史	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	石橋 英博
空研工業(株)大阪支店	塚本 法宏	(株) 扶 洋	横田 好明
(株) 古 島 大 阪 支 店	藤井 良夫	(株) ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
(株) コ ス タ コ ー ポ レ ー シ ョ ン 本 社	逸見 克孝	北 勢 工 業 (株) 本 社 営 業 部	北山 秀晴
三和銅管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	大橋 章二
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	吉田 勝彦	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	堤 由 幸
新晃工業(株)大阪支社	道端 徳昭	(株) 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
(株) 振 興 社 設 営	楠 幸隆	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	豊嶋 貴嗣
新 日 本 美 風 (株)	植松 俊行	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	中村 哲也
シンワ工業(株)大阪営業所	塩月 亨	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	岡部 文雄
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	才本 幸治	(株) ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
ゼ ン シ ン (株)	吉田 晃	(株) L I X I L 関 西 支 社 ビ ル 関 西 支 店	金岡 寛之
タイヨージョイント(株)大阪営業所	池田 信一	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株) ダ イ キ ア ク シ ス 大 阪 支 店	野村 宗克	リ ン ナ イ (株)	児玉 宅央
(株) 大 和	岩佐 和清		



先日、欲しい物があつたわけではありませんが、ふらっとCDショップに立ち寄りました。最近好きなジャンルは洋楽の耳触りの良いイージーリスニングです。

ふと棚に目をやると70年代の日本歌謡曲の特集がされており、懐かしい思いにいくつか手に取って拝見しました。当時（小学高学年）のセピア色の記憶が甦ります。カセットテープが擦り切れるほどに聞いた作品を見つけ、1枚購入しました。

近頃はレコードやカセットテープが静かなブームだと聞きます。嗜好品の世界でデジタルの次はアナログ回帰も選択肢の1つなのでしょう。

近頃は仕事に忙殺され、毎日を過ごしていますが、当時は何も考えずに日々過ごせていました。「当時」も「今」もありのまま過ごせていることが幸せなのだろうと思える年齢になってきました。

感謝を忘れず、今年も頑張ろう

(H.M)

—— 環境活動 ——

テレビや新聞などの報道で毎日のように目や耳にする環境問題ですが、私どもの従事する建設業においても様々な取り組みがなされていると思います。ISO14001やエコアクション21の認証を得て環境活動を行っているとアピールしている企業も多いかと思えます。

弊社では今年から新たな環境活動として『大阪府マイツリー事業』に参画しております。この事業は寄付により、大阪府が管理する道路に新たに街路樹を植樹し、寄付された方のお名前やメッセージなどを書き込んだ樹名プレートを取り付け的事业です。平成23年度に開始し、6年間で合計約160本の植樹が行われたそうです。

この事業に参画することは、環境保全に関われるため、非常に有意義であると思えます。この事

業以外にも行政機関やNPO法人が主導する環境保全活動は数多くありますので皆様もこれを機会に検討されてはいかがでしょうか。

(R.M)

昨年を振り返りますと、トランプ米国大統領誕生による自国第一主義の台頭や北朝鮮による度重なるミサイル発射による脅威に加え、国内では九州北部豪雨や大型台風などによる記録的な自然災害が発生するなど、まさに激動の1年でありました。

さて、昨年、当協会の新たな取り組みとしては、賛助会員による「技術・新商品説明会」の開催でした。具体的には、9月に5社による説明会、11月に懇親会と併せての3社による説明会を実施しました。

参加者へのアンケートでは、良かったとの回答が大半を占めましたが、質疑の時間をもっととってほしい、説明の機会をもっと増やしてほしいなど貴重な意見も頂戴しました。今年は、そのような声を踏まえ、より一層充実した説明会を開催し、会員及び賛助会員の交流を更に深めてまいりたいと存じます。

建設業界においては、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり、担い手の確保、育成が喫緊の課題です。当協会としても、今年で第10回目の佳節を迎える配管技能コンテストは、将来の技能者育成、人材確保が図られるよう、関係団体や工業学校とも連携しながら、更に充実させてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(S.H)

大空衛 第82号

平成30年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail:osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

